



平成24年10月11日

各 位

会 社 名 山陽電気鉄道株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 上 門 一 裕  
コ ー ド 番 号 9 0 5 2  
上 場 取 引 所 大証第1部  
問 合 せ 先 取締役総務本部マネージャー 荒 木 素 直  
(TEL 078-612-2032)

当社子会社（株式会社山陽百貨店）の業績予想との差異及び  
業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社山陽百貨店（代表取締役社長：高野 勝）が「平成25年  
2月期第2四半期累計期間における業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関する  
お知らせ」を公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上

各 位

上場会社名 株式会社 山陽百貨店  
 代表者 代表取締役社長 高野 勝  
 (コード番号 8257)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画統括部長 岩野 誠  
 (TEL 079-223-1231)

## 平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間における業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 4 月 16 日に公表した平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 25 年 2 月期通期の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異について

平成 25 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想との差異 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,531	72	52	19	24 63
今回実績 (B)	9,669	149	156	89	111 62
増減額 (B—A)	138	76	104	69	—
増減率 (%)	1.5	105.8	197.5	353.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 2 月期第 2 四半期)	9,829	142	144	44	55 89

平成 25 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想との差異 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,511	69	46	15	19 67
今回実績 (B)	9,649	143	145	82	102 94
増減額 (B—A)	137	73	98	66	—
増減率 (%)	1.4	104.9	213.4	423.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 2 月期第 2 四半期)	9,810	139	135	39	49 27

### 2. 平成 25 年 2 月期通期業績予想の修正について

平成 25 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,648	244	211	149	186 67
今回修正予想 (B)	19,943	345	338	231	288 66
増減額 (B—A)	295	101	126	81	—
増減率 (%)	1.5	41.4	59.9	54.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 2 月期)	20,327	358	354	204	254 51

平成 25 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	19,606	236	198	142	176 90
今回修正予想（B）	19,902	337	324	224	278 90
増減額（B—A）	295	101	126	81	—
増減率（%）	1.5	42.8	64.0	57.6	—
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 2 月期）	20,285	347	334	191	238 53

**差異及び修正の理由**

（第 2 四半期累計期間の業績予想との差異）

当第 2 四半期累計期間につきましては、J R 姫路駅周辺整備工事によるアクセスの悪化等はあったものご来店客の減少を補うための売り出し施策等の効果により、売上高は前回予想を 137 百万円上回りました。

利益につきましては、売上高の増加及び経費面での継続的な削減の取り組みが目標を達成したことにより、前回予想と比べ、営業利益は 73 百万円の増加、経常利益は 98 百万円の増加、四半期純利益は 66 百万円の増加となりました。

連結業績につきましては、個別業績が主要因となり差異が生じました。

（通期の業績予想の修正）

当第 3 四半期以降の会計期間につきましても、当第 2 四半期累計期間までと同様に、営業諸施策の実施により売上高は前回予想を上回ると見込まれるとともに、経費面でも引き続き削減に取り組んでまいります。

その結果、通期につきましては、売上高は 295 百万円の増加、営業利益は 101 百万円の増加、経常利益は 126 百万円の増加、当期純利益は 81 百万円の増加とそれぞれ修正を行うものであります。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正に伴い修正いたしました。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上